

2台のピアノによる

第六回公演

モーツァルト | ピアノ協奏曲 全曲演奏会

ピアノ 河野美砂子・上野真



オリヴィエ・メシヤンの言葉を待つまでもなく、モーツァルトのピアノ協奏曲群は、その特異な美しさと深さにおいてこのジャンルの究極の傑作、「アルファでありオメガ」であると言えるでしょう。本シリーズは、複数の楽器のための協奏曲(No.7&No.10)と編曲作品(No.1~No.4)を除く全21曲を、アトリエの親密な空間の中で2台のピアノ(Steinway+YAMAHA)によるアレンジで堪能しようというプロジェクトです。



演奏曲目

No.9 変ホ長調『ジュノム』(KV271) No.24 ハ短調 (KV491) No.25 ハ長調 (KV503)

全2回公演

2015年3月28日(土) 午後5時開演(午後4時30分開場) ソロピアノ: 河野美砂子
オーケストラパート: 上野真

2015年3月29日(日) 午後3時開演(午後2時30分開場) ソロピアノ: 上野真
オーケストラパート: 河野美砂子

於・アトリエ ワム atelier WAM (千本北大路から徒歩4分) 京都市北区紫野北船岡町41 (裏面地図参照)

入場料 (各回) 一般 4000円 中学生以下 3000円 (受付次第、振り込み用紙同封の上、詳細地図をお送り致します。)

問合せ・申し込み コンサート・モーツァルト (午前10時~午後5時・土日祝休) メール conmoz69@ybb.ne.jp

電話 (075)432-0117 FAX 050-1359-4384 郵便振替00990-1-192739 ウェブサイト「紫野(むらさきの)通信」<http://music.geocities.jp/misakn95/>

上野 真 (うえのまこと)

祖母と父がオルガニストの家庭に育ち、4歳からピアノを始める。鈴木吟子、宮沢明子両氏に師事。16歳で単身渡米し、米国・フィラデルフィア・カーティス音楽院にて、故J.ボレット氏、G.グラフマン両氏に師事し卒業。その後オーストリア・ザルツブルク・モーツァルテウムに留学し、4年間 故H.ライグラフ氏に師事。メリーランド(1985・ワシントンD.C.)、バーゼンドルファー・エンパイア(1986・ブリュッセル)、ジュネーヴ(1988)、オルレアン20世紀(2002)、リヒテル(2005・モスクワ)等の国際コンクールで入賞。京都市芸術新人賞(2005)、青山バロックザール賞(2005)受賞。

2004年リスト・超絶技巧練習曲全曲のデビューCDをリリース。またこの年から、モダン・ピアノに加えて、19世紀から20世紀前半までのフォルテピアノやピアノの名器を使った演奏会を、京都、大阪、東京、札幌、名古屋などで開催している。2006年にはアルバム「3つのモダン・タイムズ」(ドビュッシー、バルトーク&ストラヴィンスキー)を発表。近年は、ロシア、ラトヴィア、ノルウェー、フランス、オーストリア、メキシコ、トルコなどでソロ・リサイタルや協奏曲の演奏会を行っている。国内では、NHK・FM、BS・Hi-VisionやBS2で、演奏が度々放送されており、ぴあのピアノへの出演、のだめカンタービレのサウンドトラック制作にも関わる。2010年モダン・ピアノによる「ソナチネ・アルバム第2巻・古典」教則本の2枚組CD(ヘンレ版・エルンスト・ヘルトリッヒ編)をリリース。2011年には「歴史的楽器2台によるベートーヴェン中期2大ソナタ&幻想曲」のアルバムを発表。2013年には1925年製のニューヨーク・スタインウェイを使ったラフマニノフのソナタ第2番(1913年版)とドビュッシーの前奏曲集第2巻、19世紀のプレイエルとエラールを使用したショパンのソナタ第2番と第3番のアルバムを発表。2014年秋には、1852年製エラールによるリストの巡礼の年第2巻とヴェネチアとナポリのアルバムをリリース。現在京都市立芸術大学音楽学部准教授。

河野 美砂子 (こうのみさこ)

京都市生まれ。京都市立堀川高校音楽科、京都市立芸術大学卒業。芸大卒業後、井上直幸氏に師事。

1982年～83年、ロスアンジェルスにてJ.ペリー氏に師事。その後渡欧、1983年～84年ウィーン国立音大のE.ウェルバ教授の歌曲伴奏のクラスに通う一方、フライブルクのP.アクセンフェルト女史に師事。

1985年帰国後、ソロリサイタルシリーズ(シューベルトとシェーンベルク)を五年間にわたり開催、1995年および1996年には、そのまとめとして二晩にわたる連続リサイタルを、京都、大阪、東京にて開催した。

室内楽の分野では、P.カルミレッリ氏(元イ・ムジチ合奏団首席ヴァイオリン奏者)を始めとする内外のソリストとの共演の他、ベートーヴェン・ヴァイオリンソナタ全10曲、同チェロソナタおよび変奏曲全8曲、同ピアノトリオ全曲演奏会「ベートーヴェンとの対話」等をシリーズで企画演奏した。その他、オーケストラとの共演、通奏低音(チェンバロ)等。また、フォルテピアノによる、シューベルトの室内楽演奏会等を開催した。

1988年淡路島国際室内楽コンクール優秀賞。

2006年、ソロリサイタル【モーツァルトに会いたい】を京都芸術センター講堂にて開催、従来とは違った形の音楽会が反響をよび、シリーズ継続が決定。詩人の谷川俊太郎氏の朗読との共演など、2009年まで全6回の演奏会を開催した。

1997年より2002年まで大阪音楽大学大学院(室内楽)非常勤講師、2000年より2004年まで京都大学医療技術短期大学部(芸術学)非常勤講師、95年より現在まで京都市立芸術大学音楽学部(ピアノ)非常勤講師。

また、短歌にも興味を持ち、1992年塔短歌会に入会。1995年第41回角川短歌賞受賞。

2004年第一歌集『無言歌』(砂子屋書房)を刊行。同歌集により第5回現代短歌新人賞受賞。

アトリエ ワム

電話 (075)432-0117 〒603-8227 京都市北区紫野北舟岡町 41
「千本北大路」、または「千本鞍馬口」から徒歩4分。
千本通りから、東に入って4軒目です。

●「千本北大路」、「千本鞍馬口」までの経路

◎ JR 京都駅より、地下鉄「北大路」駅下車(約13分)。
「北大路」駅の、市バス【青のりば】より乗車([北1]と[37]を除く、すべてのバスに乗車OK)。
「千本北大路」まで約10分。
または、地下鉄「北大路」駅 ⑥番出口より、タクシーで2メートル。

◎ 阪急「大宮」駅下車。
市バス「四條大宮」停留所(北行き・「王将一号店」前)より[6][46][206]にて、「千本鞍馬口」まで約20分。



ウェブサイト「紫野通信」<http://music.geocities.jp/misakn95/>